

農業高校で全国初となる快挙！ ～肉用牛の「農場 HACCP 認証」を取得～

■ 府立農芸高等学校では、同高の肉用牛実習農場における衛生管理の向上と、安心安全な和牛肉の供給と生産に取り組んでいます。この度、その衛生管理レベルが認められ、本日、肉用牛では全国の農業高校初となる「農場 HACCP 認証」を取得しました。

■ 1月26日に認証式を行いますので、当日の取材をお願いします。

1 認証日及び認証番号

- ・ 認証日：令和6年1月11日
- ・ 認証番号：第421号

2 認証式日時及び場所

- ・ 日時：令和6年1月26日(金) 14:05～14:55(予定)
- ・ 場所：京都府立農芸高等学校 視聴覚室（南丹市園部町南大谷）

3 認証農場の概要

- ・ 農場の名称：京都府立農芸高等学校（校長：湯川佳秀^{ゆかわよしひで}）
- ・ 所在地：京都府南丹市園部町南大谷（電話番号：0771-65-0013）
- ・ 飼養頭数：17頭
- ・ 主な出荷先：京都食肉市場株式会社、東京食肉市場株式会社



4 認証までの経緯

- ・ 京都府立農芸高等学校は、農業教育の充実振興を図るため、昭和58年4月に京都府内唯一の単独制の農業高等学校として開校され、本年41年目を迎えた。昭和60年3月に和牛舎が完成し和牛を用いた教育活動を推進。
- ・ 京都府南丹家畜保健衛生所及び公益社団法人京都府家畜畜産物衛生指導協会と一緒に HACCP チームを編成して衛生管理レベルの向上を図るとともに、南丹広域振興局からオブザーバー等の支援を受け、令和3年12月に「農場 HACCP 推進農場」に指定。
- ・ 令和4年5月に採卵鶏で西日本の農業高校で初の「農場 HACCP 認証」を取得。
- ・ 令和5年11月の公益社団法人中央畜産会の審査を経て、令和6年1月11日に肉用牛で全国の農業高校初となる「農場 HACCP 認証」を取得。

<< 農場 HACCP >>

- ・ 畜産農場の衛生管理レベルを向上させるため、農場段階での危害を防止するための管理ポイントを設定し、継続的に監視・記録を行うことにより、危害要因をコントロールする手法。
- ・ 国の「畜産農場における飼養衛生管理向上の取組認証基準(農場 HACCP 認証基準)H21.8 公表」に基づき設置する「農場 HACCP 認証協議会」が、(公社)中央畜産会と(株)エス・エム・シーを第三者認証機関として認定し、認証機関は申請農場を審査し認証。
- ・ 令和5年12月12日現在、全国の454農場(乳用牛45農場、肉用牛121農場、乳用・肉用牛3農場、豚168農場、採卵鶏102農場、肉用鶏15農場)が認証されている。
- ・ 南丹管内の認証件数は3戸(3農場：肉用牛、1農場：採卵鶏)。

【本報道発表に関するお問合せ】

(全般について) 南丹広域振興局農林商工部農商工連携・推進課
課長 高橋、主幹 宮城 TEL 0771-22-0371
(認証式について) 京都府立農芸高等学校
教諭 白波瀬 TEL 0771-65-0013

